販売システム革新事例

小坂直司*　野村　裕***
深堀秀一**　浦津多恵***
吉田二郎***

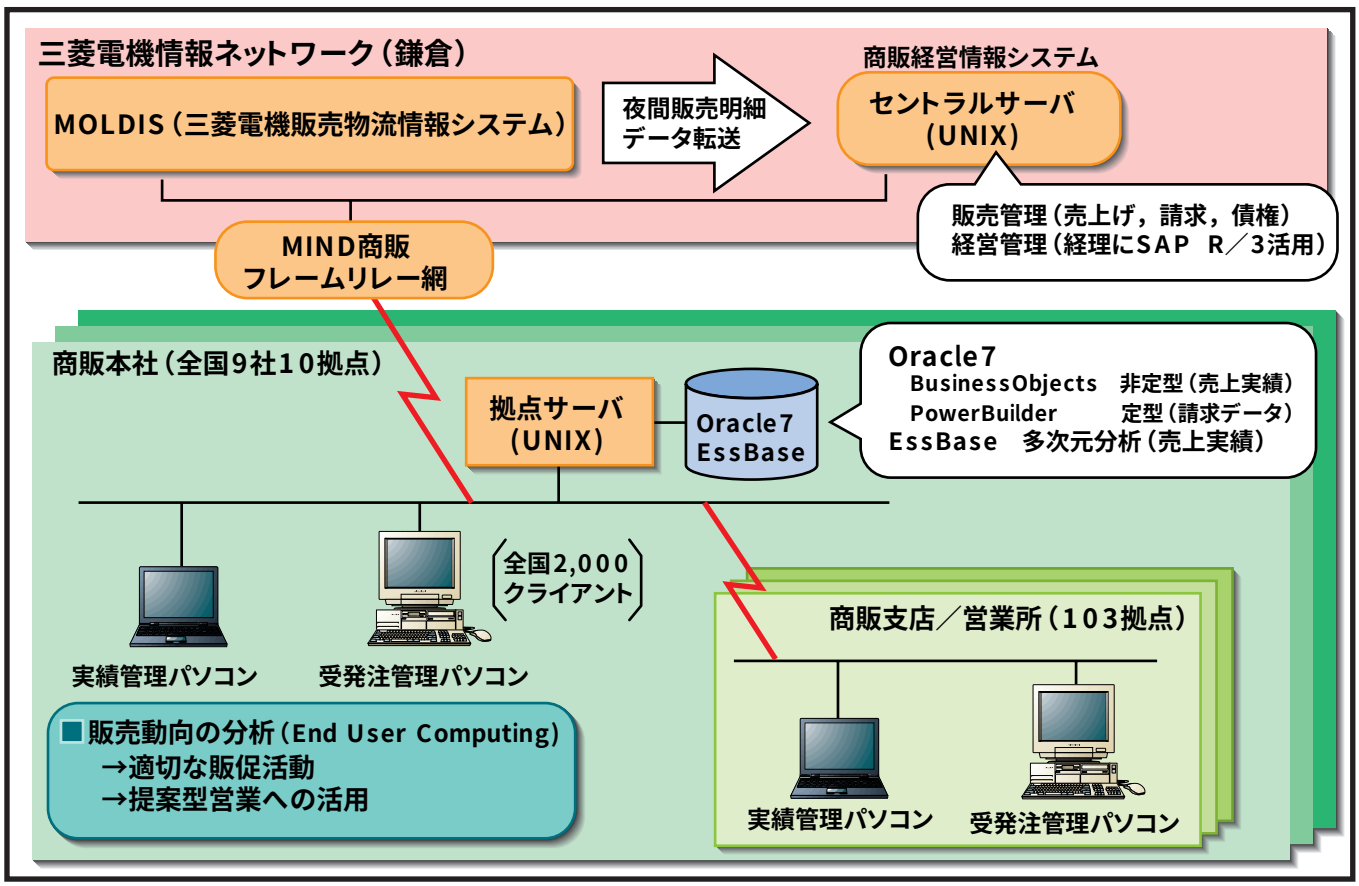
要　旨

三菱電機は，家電製品販売会社である三菱電機商品販売会社（ライフネットワーク，ライフテック８社，略称：商販）の情報システム（販売管理，経営管理）をクライアント／サーバシステムで再構築した。このシステムは，汎用機やオフィスコンピュータで稼働していたシステムを，セントラルサーバ（UNIX２台）及び拠点サーバ（全国拠点UNIX10台）で再構築し，これらサーバをフレームリレー網上に配置した統合管理システムである。1996年10月に稼働開始した。

新システム構築の目的は，情報システムの費用削減と高度情報システム基盤整備であり，年間約10億（社外費用）の削減を行うとともに，クライアント／サーバのオープンな環境の下で各種の情報活用によって業務改革を行うことである。新システムの機能面から見た特長として①販売実績検索として非定型検索Business Objects（Oracle），多次元分析のEssbaseの利用，②経理システムでの，SAP R／3を利用したリアルタイムシステムの実現，③従来からの処理についてはシステムの資産（COBOL）のコンバートによる利用，④全国１センター10拠点のサーバ上の処理の統合管理，が挙げられる。

新システムは，稼働後約２年を経過している。この間，システムの安定稼働とともに，更なる業務改革として出荷注残履歴検索／FAXイメージ取り込み等，オープンな情報インフラを活用したシステムを稼働させ，商品販売会社の経営に貢献している。

（注）“Business Objects”はBusiness Objectsの，“Essbase”はArbor Softwareの，“Oracle7”はOracle Corp.の，“PowerBuilder”は米国Powersoft Corp.の，“SAP”R／3”はSAP Aktiengesellshaftの登録商標です。その他の会社名，製品名はそれぞれの登録商標又は商標です。



新商品販売会社システム概念図

セントラルサーバでは，夜間MOLDISから転送された販売明細データを基に販売管理(売上げ，在庫，請求，回収)処理及び経営管理(経理，人事，給与)処理を行う。拠点サーバでは，セントラルサーバからの販売実績を基に実績検索用データ更新処理を行う。これら基幹業務処理，検索データ業務処理，MOLDIS発注処理を同一ネットワーク上に配置した統合管理システムである。

*三菱電機(株)販路計画部　**同営業情報システム部　***三菱電機情報ネットワーク(株)